

Panasonic

マルチメディア授業支援システム

ライブラリー学習者ソフト

学習者用操作マニュアル

品番 WE-AS866

もくじ

はじめに	3
第1章 操作方法	7
第2章 STRパネルの操作方法	22
付録	49

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。

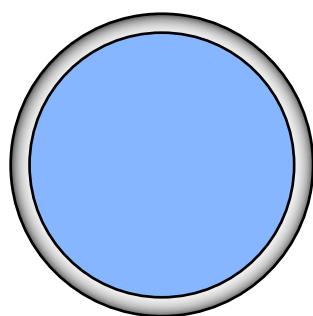
本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。また、本書には正確な情報を記載するように努めましたが、誤りや不正確な記述があった場合にも、松下電器産業株式会社（Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.）はいかなる責任、責務も負わないものとします。

=====

© 2003 Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd. All Rights Reserved.

本書の著作権は、松下電器産業株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部を許可なく複製・複写することを禁じます。

- L3 Stageは、松下電器産業株式会社の商標です。
- AdobeおよびAcrobat Readerは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。



はじめに

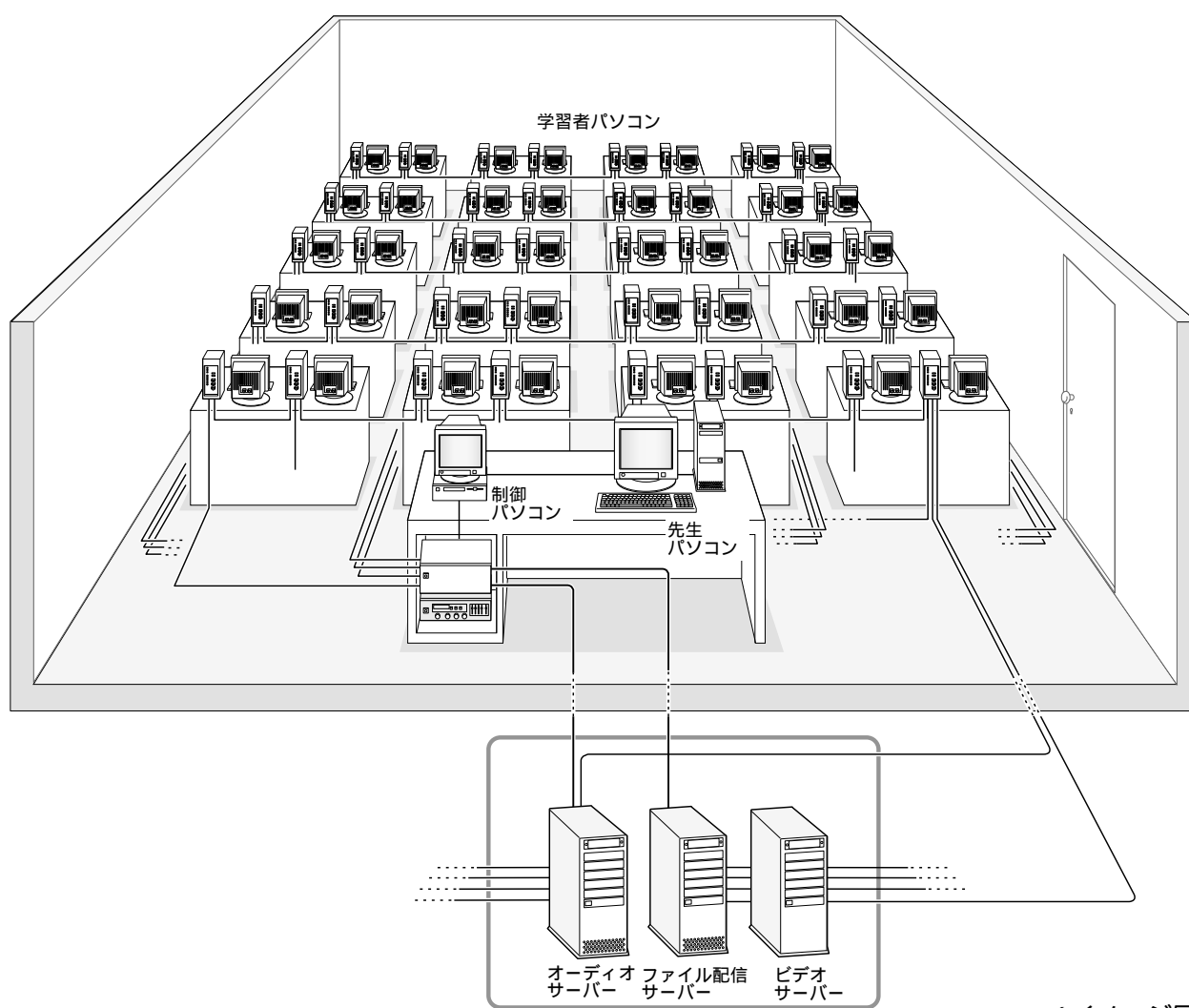
もくじ

商品概要	4
本書について	5
本書で使用している用語について	5
略称について	6

商品概要

本ソフトは、学内パソコン教室、LAN環境においてパソコンを最大限に活かした語学学習、情報リテラシーの学習をサポートするためのライブラリー学習ソフトです。

DHCP接続を使用することで、異なるセグメントにある環境のパソコンや、IPアドレスを自動的に取得する設定のパソコンでも、ライブラリー学習を行うことができます。



(イメージ図)

本書について

本書はライブラリー学習者パソコンの操作説明書です。本システムではライブラリー学習を行う前に、運用のための設定や各パソコンへのシステムソフトのインストールなど、各種設定が必要になります。各種設定の操作方法については、別冊のライブラリー学習者ソフト取扱説明書をお読みください。

本書で使用している用語について

オーディオサーバー	: 音声教材、アナライザー教材などを登録しておくサーバーです。
ファイル配信サーバー	: ファイルの配布や回収を行うサーバーです。 また、WBT型教材も登録します。
ビデオサーバー	: 動画ファイルを登録しておくサーバーです。
管理パソコン	: ライブラリー管理用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。
先生パソコン	: サーバー教材のプレビューを行ったり、学習履歴の閲覧を行います。先生が使用します。
学習者パソコン	: 学習者用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。学習者が使用します。
スチューデントユニット	: 学習者用の音声入出力ユニットです。ヘッドセットの音量調節などを行います。
サーバー音声教材	: オンデマンド開放で使用できる音声教材です。
WBT型教材	: 音声に静止画、テキスト、問題設定などを加えたWeb利用の教材です。オンデマンド開放で、Webブラウザを使って閲覧することができます。
サーバー教材	: 上記2種類の教材の総称です。
STRパネル	: Student Tape Recorderの略です。学習者パソコンで音声教材などの操作を行います。
ストリーミング	: データの一部を読み込んだ段階で再生を開始し、読み込みと再生を同時に行うことです。
ライブラリーシステム	: サーバーに蓄積してある教材を使用して、学習者が自由に学習できるシステムです。
PRAC	: STRパネルの機能の1つで、Practiceの略です。教材に自分の音声を重ねて録音し、比較練習などを行えます。
PRL	: STRパネルの機能の1つで、Paragraph Repeat Listenの略です。教材の任意の区間を繰り返し再生します。
Windowsログイン連動	: Windowsへのログインの際に入力されたユーザー名を使用して、ライブラリー学習にログインすることができます。

略称について

Microsoft® Windows® 95日本語版、Microsoft® Windows® 98 日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版、Microsoft® Windows NT® Version4.0日本語版、Microsoft® Windows® 2000日本語版、Microsoft® Windows XP日本語版のすべてに関する説明を記載している個所では、これらをまとめてWindowsと表記しています。



第1章

操作方法

ここでは、起動のしかた、本ソフトの基本的な操作方法について説明します。

もくじ


起動する	8
状態表示について	12
学習者状態表示一覧（ランチャーパネルに表示）	12
ランチャーパネルの使いかた	13
STRパネルを表示する	13
レポートフォルダーを表示する	14
操作マニュアルを表示する	15
アプリケーションを起動する	16
フォルダーボタンの使いかた	17
MS-IMEツールバーを表示する	18
ボリュームを調節する	19
Windows画面に移る	20
終了する	21
先生の操作によって終了する	21
OFFボタンを使用する	21

起動する

学習者パソコンは、他の全ての機器を起動してから、必ず最後に起動します。学習者パソコン接続された各種周辺機器やHUBの電源が入っていることを確認してください。

1. 他の全ての機器が起動されていることを確認します（先生が行ってください）。

- ① 教室のブレーカーを入れます。
- ② 周辺機器（接続している外部記録デバイスなど）の電源を入れます。
HUBの電源は、必ずサーバーより先に入れてください。
- ③ オーディオサーバー、ファイル配信サーバー、ビデオサーバーを起動します。サーバーの電源を入れて、パスワードを入力し、サーバーを起動します（画面の指示に従ってください）。
- ④ 管理パソコンの電源を入れ、ライブラリー学習画面を表示します。
- ⑤ 先生パソコンの電源を入れます。

2. 学習者パソコンの電源を入れ、デスクトップ画面の [L3 Stage] アイコン  をダブルクリックします。

学習者ソフトが起動すると、学習者パソコンに認証入力パネルが表示されます。



ユーザー名とパスワードを入力してください

ユーザー名
User Name

パスワード
Password

ログイン 終了

スタンドアロン時は下記のパネルが表示されます。スタンドアロンの場合は、パスワードを入力する必要はありません。



ユーザー名を入力してください

ユーザー名
User Name

ログイン 終了

3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンを押します。

ランチャーパネルが表示されます。



スチューデントユニット未接続が接続されていない場合は下図のランチャーパネルが表示されます。

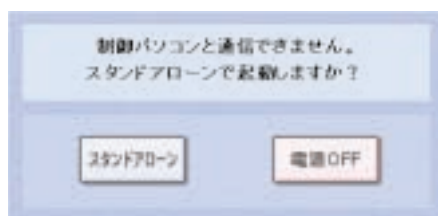


＼ 認証入力パネルについて ＼

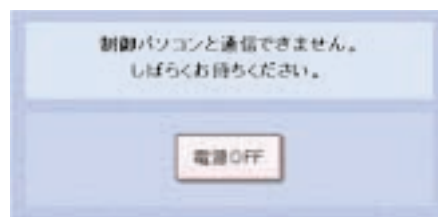
設定によっては、認証入力パネルは表示されずにランチャーパネルが表示されます。

≪管理パソコンが起動していない場合≫

スタンドアローン起動を許可する設定の場合、管理パソコン不在パネルが表示されます。管理パソコンが起動されると、自動的に認証入力パネルが表示されます。また、[スタンドアローン] ボタンを押すことで、管理パソコンが不在状態でも、学習者ソフトを使用して学習することができます。ただし、この場合ライブラリー学習に参加することはできず、一部の機能に関しては使用できないものがあります。



スタンドアローン起動が許可されていない場合、下記のパネルが表示されます。

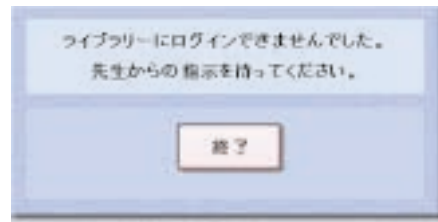


≪ユーザー名またはパスワードを間違えると≫

ユーザー名またはパスワードを間違えると、次の画面が表示され、3回まで再入力できます。正しいユーザー名とパスワードを入力し直してください。



4回間違えると認証が拒否されます。先生からの指示を待ってください。



＼スタンドアローン起動の場合＼

スタンドアローン起動時にログインユーザー名を誤ると、学習履歴データが削除されますので、ご注意ください。

4. システムを終了させる場合は [Windowsへ] ボタン、パソコンごと終了させる場合は [OFF] ボタンを押して終了させてください。

＼ユーザー切り換えについて＼

WindowsXPをご使用の場合、L3 Stageシステムを起動したままユーザー切り換えを行うと、正常に起動しなくなる恐れがありますので、行わないでください。

状態表示について

先生が行う管理パソコンの操作によって、学習者パソコンのランチャーパネルにそのときの状態説明が表示されます。



学習者状態表示一覧（ランチャーパネルに表示）

サーバー教材開放開始 : 開放された教材を自分で選択し、STRパネルを使用して学習できます。

ランチャーパネルの使いかた

ここでは、ランチャーパネルで行う機能の内容とその操作方法について説明します。

STRパネルを表示する

音声教材を使ったライブラリー学習に関する基本操作は、このSTRパネルで行います。ここではSTRパネルの表示のしかたについて説明します。STRパネルの詳細は「STRパネルの操作方法」(☞22ページ)をお読みください。

1. アプリケーションの [STR] ボタンをクリックします。



STRパネルが画面の下側に表示されます。音声教材に関する操作は主にこのSTRパネルで行います。



2. STRパネルを閉じるときは、[×] ボタン (閉じるボタン) をクリックします。



注意

教材が開放されると、STRパネルは、自動的に表示されます。

レポートフォルダーを表示する

レポートフォルダーは、レポート作成など、一時的な作業用に使用します。

1. アプリケーションの [レポート] ボタンをクリックします。



レポートフォルダーが表示されます。

2. レポートフォルダーを終了する場合は、Windowsエクスプローラーの終了操作を行ってください。

操作マニュアルを表示する

本マニュアルを表示します。

◇注意◇

学習者パソコンに、Acrobat Readerがインストールされている必要があります。

1. アプリケーションの [マニュアル] ボタンをクリックします。



Acrobat Readerが起動し、本マニュアルが表示されます。

2. マニュアルを閉じるときは、Acrobat Readerを終了します。

アプリケーションを起動する

Windowsの各種アプリケーションを起動します。

1. 起動したいアプリケーションのアプリケーションボタンをクリックします。



それぞれのアプリケーションが起動します。

2. アプリケーションを終了するとき、それぞれのアプリケーションで終了の操作をします。

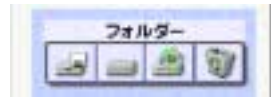
＼起動したいアプリケーションのボタンが表示されていないときは、
[前] ボタンまたは [次] ボタンをクリックし、ページを切り換えます。


＼注意＼

先生側の設定で、ランチャー登録ソフト ロックが設定されている場合、ロックされているボタンは操作できません。


フォルダーボタンの使いかた

次の4つのフォルダーをボタン1つで表示することができます。




[フロッピーディスク] ボタン 


: クリックすると、フロッピーディスクドライブに保存されているファイルやフォルダーが表示されます。クリックする前にフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れてください。

[ハードディスク] ボタン 

: クリックすると、学習者パソコンの共有作業用に割り当てられているハードディスク内のファイルやフォルダーが表示されます。

[CD-ROM] ボタン 

: クリックすると、CD-ROMに保存されているファイルやフォルダーが表示されます。クリックする前にCD-ROMドライブにCD-ROMを入れてください。

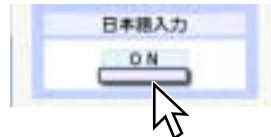
[ごみ箱] ボタン 

: クリックすると、ごみ箱に入っているファイルやフォルダーが表示されます。

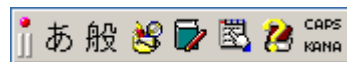
MS-IMEツールバーを表示する

キーボードの日本語入力モードを切り換えるMS-IMEツールバーを表示します。

1. MS-IMEツールバーが表示されていないときは [ON] ボタンをクリックします。

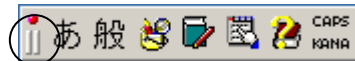


画面右下にMS-IMEツールバーが表示されます。



注意

- MS-IMEツールバーは、アプリケーションソフトの起動時に自動的に表示される場合もあります。
- MS-IMEツールバーを移動するには、下図のボタンをマウス左ボタンでドラッグしてください。



ボリュームを調節する

マイク・ヘッドホンの音量ボリュームを調節します。

1. スライダーを操作して調節します。
上のスライダーがマイク（入力）ボリューム、下のスライダーがヘッドホン（出力）ボリュームです。



Windows画面に移る


本ソフトを終了し、Windowsのデスクトップ画面に移ります。

1. [Windowsへ] ボタンをクリックします。



本ソフトを終了し、Windowsのデスクトップ画面に移ります。

＼注意＼

Windows画面から本ソフトを起動するには、デスクトップ画面の [L3 Stage] アイコン  をダブルクリックします。

終了する

本ソフトの終了方法は、設定によって、下記のように異なります。

先生の操作によって終了する

先生がライブラリー学習終了の操作を行うと、学習者パソコンも下記の3通りの方法で連動します。

- ① 認証入力パネルが表示される場合
[電源OFF] ボタンをクリックします。
学習者パソコンの電源がOFFになります。
- ② Windows画面に戻る場合
Windows終了操作を行います。
学習者パソコンの電源がOFFになります。
- ③ 電源OFFされる場合
何も操作しなくても、学習者パソコンの電源がOFFになります。

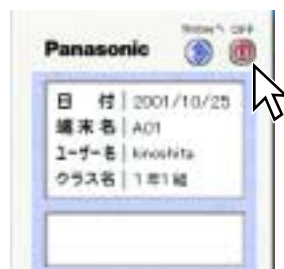
＼注意＼

パソコンの機種によって、Windowsの終了処理が通常よりも時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。そのまましばらくお待ちください。

OFFボタンを使用する

学習者パソコンの電源を切る場合は、以下の方法で操作します。

1. [OFF] ボタンをクリックします。



本ソフトが終了し、学習者パソコンの電源がOFFになります。



第2章

STRパネルの 操作方法

ここでは、STRパネルを使って行う機能の操作方法について説明します。

もくじ

教材を聞く	23
教材を録音する	23
再生する録音教材を選択する	25
教材の再生トラックを選択する	26
教材を再生する	27
教材を繰り返し再生する	29
録音教材に重ねて自分の声を録音し、 比較学習する	31
オンデマンド学習（自習）を行う	33
サーバー音声教材、アナライザー教材を選択し 再生する	33
サーバー音声教材、アナライザー教材を録音する	36
教材をダウンロードする	37
WBT型教材を使う	39
評価問題の操作のしかた	41
ファイル／PRAC音声／学習履歴を提出する ..	43
PRAC音声を提出する	43
ファイルを提出する	45
学習履歴を提出する	47

教材を聞く

ここでは、教材の録音・再生のしかたについて説明します。

教材を録音する

教材をローカルフォルダーに録音します。録音用の領域はTRACK01からTRACK10まで10トラックあります。

1. [TRACK] ボタンをクリックします。



保存先はTRACK01からTRACK10のいずれかのボタンを押すことにより指定されます。取り込まれた教材は、トラックリストにより確認することができます。



2. 録音を途中で止めたい場合は、[STOP] ボタンをクリックします。



録音が終了します。録音教材リストの選択したトラックの右側に録音時間が表示されます。

ㄥスタンドアローン時の教材取り込みㄥ

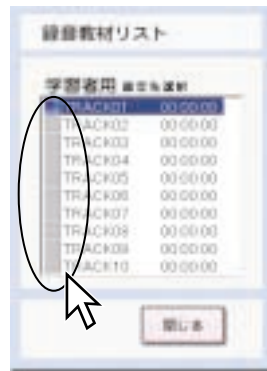
- 教材リスト選択パネルが表示されていない状態での [教材取込] ボタンは、AV機器をサウンドカードのLine-Inに接続したときのみ使用できます。また、マイク音声 (MIC) を取り込むときはPRAC録音のみです。
- 教材リスト選択パネルが表示されている状態で [教材取込] ボタンを押すと、選択中の教材音声は録音され、表示されていない状態で [教材取込] ボタンを押すと、サウンドカードのLine-Inに接続されているAV機器の音声は録音されます。



再生する録音教材を選択する

[再生] ボタンをクリックしたときに再生される教材を選択します。教材の選択は [TRACK] ボタンを押し、録音教材リストパネルからトラックを選択して行います。

1. 再生したい教材が録音されているローカルフォルダーボタンをクリックします。



ローカルフォルダーボタンをクリックすると、ボタンがON状態になります。
[PLAY] ボタンをクリックすると、選択した録音教材が再生されます。

教材の再生トラックを選択する

教材が送出されているときや録音教材を再生するときに、再生するトラックを選択します。

1. [トラック選択] ボタンをクリックします。



[トラック選択] ボタンをクリックするたびに、再生トラックがSTEREO L R MONOの順に切り換わります。

- | | |
|--------|-------------------------------|
| STEREO | : ステレオ再生します |
| L | : Lchの音声を両耳に再生します。 |
| R | : Rchの音声を両耳に再生します。 |
| MONO | : LchとRchの音声をミキシングして両耳に再生します。 |

注意

- トラック選択は再生教材がステレオで録音されている場合のみ有効です。
- スピードコントロールでスピードを0%以外に変更した時は、[トラック選択] ボタンによる変更はできません。

教材を再生する

録音した教材を再生します。

重要

再生の操作をする前に、再生したい教材を選択しておく必要があります。選択のしかたは「再生する録音教材を選択する」(25ページ)をお読みください。

1. [PLAY] ボタンをクリックします。



再生が開始します。カウンターに再生時間が表示されます。

2. 再生を終了するときは [STOP] ボタンをクリックします。




再生が終了します。

＼一時停止、巻き戻し、早送りするには＼


各操作ボタンをクリックします。再生したい個所を頭出ししたいときなどに使用します。

[REW / SKIP BACK] ボタン 

：再生中に1秒以上押し続けると巻き戻しが開始され、ボタンをはなすと再生します。

[STOP] ボタン 

：再生、巻き戻し、早送りを停止します。

[PAUSE] ボタン 

：再生を一時停止します。

[FF / SKIP FORWARD] ボタン 

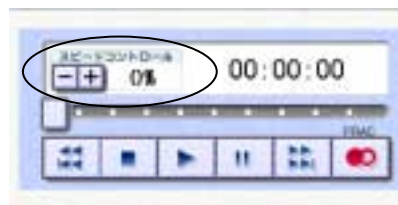
：再生中に1秒以上押し続けると早送りが開始され、ボタンをはなすと再生します。

＼再生位置を指定するには＼

つまみを動かして再生位置を指定できます。つまみを動かすと連動して、カウンターの値も変化します。カウンターの値を確認しながら、つまみを動かして再生位置を指定することもできます。

＼再生スピードを変更するには＼

スピードは - 30% ~ + 30%の間で5%単位で設定します。0%は教材オリジナルのスピードです。- 30%に設定すると、1.3倍遅くなります。+ 30%に設定すると、1.3倍早くなります。



[-] ボタン：クリックするたびに5%ずつ減少します。

[+] ボタン：クリックするたびに5%ずつ増加します。

＼注意＼

スピードを0%から変更した時、または0%に戻した時に、音声の処理方法が変わるため音が途切れますが、故障ではありません。

また、スピードを0%以外に変更した時、再生音声はモノラルになります。

教材を繰り返し再生する

教材の任意の区間を指定して、繰り返し再生します。

1. 繰り返して再生したい部分を頭出しします。

[PLAY] ボタンをクリックし、つまみを使って再生位置を指定するか、早送りします。

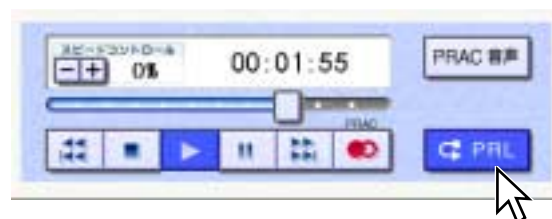


2. [PRL] ボタンをクリックします。



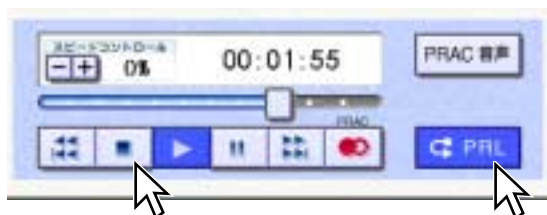
[PRL] ボタンが点滅表示します。繰り返し再生したい部分の先頭が指定されます。教材の再生は継続します。

3. 繰り返し再生したい部分の終わりにきたら、再度 [PRL] ボタンをクリックします。



[PRL] ボタンがONになります。繰り返し再生したい部分の終わりが指定され、繰り返し再生が自動的に開始されます。

4. 繰り返し再生を終了したいときは [PRL] ボタン、または [STOP] ボタンをクリックします。



[PRL] ボタンが元の表示に戻ります。繰り返し再生（再生）が終了します。

録音教材に重ねて自分の声を録音し、比較学習する

録音教材に重ねて自分の声を録音します。英会話のレッスンなど、教材の音声と自分の音声を比較して学習するときなどに便利な機能です。

1. 録音教材を選択し、自分の声を重ねて録音したい部分を頭出しします。

[PLAY] ボタンをクリックし、つまみを使って再生位置を指定するか、早送りします。

2. [PRAC] ボタンをクリックします。



自分の声を録音できる状態になります。マイクに向かって話をします。

3. 録音を終了するには [STOP] ボタンをクリックします。



録音が終了、[PRAC 音声] ボタンが自動的にONになります。
録音教材と自分の声の両方が再生できるようになります。

4. [PLAY] ボタンをクリックします。



教材の音声と自分の声が重なって再生されます。

5. 再生を終了するときには [STOP] ボタンをクリックします。



再生が終了します。


＼教材の音声のみ聞きたいときは＼

オリジナルの教材の音声のみ再生したいときは、[STOP] ボタンをクリックして、いったん再生を停止します。そのあと [PRAC 音声] ボタンをクリックしてOFFにし、再度 [PLAY] ボタンをクリックします。

オンデマンド学習（自習）を行う


サーバー教材を使ってオンデマンド学習（自習）します。サーバー音声教材を録音して、自分の声を重ねて録音したり、繰り返し再生したり、WBT型教材を使って問題演習などを行うことができます。

サーバー音声教材、アナライザー教材を選択し再生する

1. 先生から教材が開放されると、サーバー教材選択パネルが表示されます。
2. 教材を選択します。サーバー音声教材には  のアイコンが表示されます。



- 先生から開放された教材が表示されます。サーバー音声教材、アナライザー教材は、フォルダー－レッスン－センテンスで構成されています。

サーバー音声教材のアイコン  が表示されたフォルダーの左にある [+] ボタンをクリックすると、そのフォルダー内のレッスンが表示されます。

レッスンを選択したい場合は、レッスンをクリックします。

- レッソンの左にある [+] ボタンをクリックすると、そのレッスン内のセンテンスが表示されます。センテンスを選択したい場合は、センテンスをクリックします。

＼複数のセンテンスを選択したいとき＼

サーバー教材リスト選択パネルで [複数選択] ボタンをクリックしてから、教材を選択します。

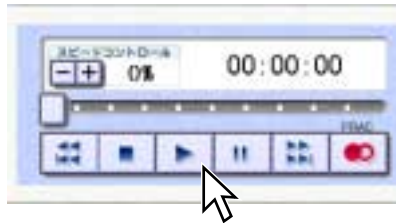
注意

教材リスト選択画面が表示されている状態では、録音教材リストパネルの音声を再生することはできません。録音トラックの音声を再生した場合は、教材リスト選択パネルを閉じてください。

教材リスト選択パネルを消したいとき

STRパネルの [教材リスト] ボタンをクリックして、OFFにすると、教材リスト選択パネルを閉じることができます。再度、表示するには、もう一度 [教材リスト] ボタンをクリックします。

3. [PLAY] ボタンをクリックして、再生します。



再生が開始します。

4. 再生を終了するときは [STOP] ボタンをクリックします。




再生が終了します。

一時停止、巻き戻し、早送りするには


各操作ボタンをクリックします。再生したい箇所を頭出ししたいときなどに使用します。

[REW / SKIP BACK] ボタン 

: 短く（1秒以内）押すと、同じ教材の先頭に戻ります。再生中に1秒以上押し続けると巻き戻しが開始され、ボタンをはなすと再生します。複数の教材を選択しているときは、1回押すたびに前のセンテンスの先頭にスキップします。

[STOP] ボタン 

: 再生、巻き戻し、早送りを停止します。

[PAUSE] ボタン 

: 再生を一時停止します。

[FF / SKIP FORWARD] ボタン 

: 再生中に1秒以上押し続けると早送りが開始され、ボタンをはなすと再生します。
 複数の教材を選択しているときは、短く（1秒以内）1回押すたびに次のセンテンスの先頭にスキップします。

＼コメント付きサーバー音声教材、アナライザー教材を再生すると＼

コメント付きサーバー音声教材、アナライザー教材を再生すると、STRパネルの上にコメントの内容が表示されます。コメントを表示したくないときは [コメント表示] ボタンをクリックします。



＼アナライザー教材を再生すると＼

問題への回答時間が設定されているアナライザー教材を再生すると、回答時間の間は無音（ポーズ）となります。

[FF / SKIP FORWARD] ボタンをクリックすると、回答時間をスキップすることができます。

サーバー音声教材、アナライザー教材を録音する

サーバー音声教材、アナライザー教材を選択し、録音して学習者パソコンに取り込みます。録音時には、再生も同時に行われます。

1. サーバー音声教材、アナライザー教材を選択し、[教材取込] ボタンをクリックします。



教材の再生と録音が始まります。録音される場所や録音時の動作については「教材を録音する」をお読みください。

2. 録音を途中で止めたい場合は、[STOP] ボタンをクリックします。



録音と再生が終了します。

教材をダウンロードする

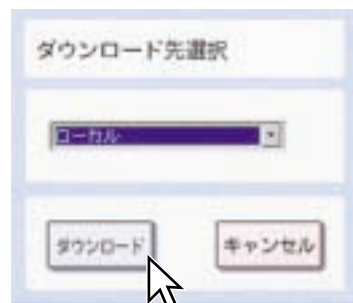
サーバー教材のリストが表示されている時に先生が許可をしていれば、教材をダウンロードすることができます。

- ダウンロード先には、学習者パソコンのハードディスクの他、USBメモリなど外部記憶メディアを指定することができます。ただし、CD-Rを指定した場合、直接CD-Rに書き込みを行うことはできません。いったん学習者パソコンのハードディスクにダウンロードされた教材を、別途CD-R書き込みソフトを使用して、書き込み作業を行ってください。その際、学習者ソフトはあらかじめ終了しておいてください。
- ダウンロードした教材を再生するには、学習者ソフトがインストールされたパソコンが必要です。また、先生の設定によっては、教材の持ち帰りができない場合があります。

1. サーバー音声教材、WBT型教材を選択し、教材リスト選択パネルの[ダウンロード]ボタンをクリックします。



2. ダウンロード先を選択したら、ダウンロード先選択パネルの[ダウンロード]ボタンをクリックします。



ダウンロードが開始されます。

3. 選択した教材に動画ファイルが含まれる場合、動画を含む教材を一緒にダウンロードするか、確認パネルが表示されます。

4. ダウンロードした教材を確認・再生するには「表示する教材リスト」の [] ボタンを押して学習者パソコンを選択します。
5. 教材選択画面に、学習者パソコン内にダウンロードされた教材のリストが表示されます。
6. 学習者パソコン内にダウンロードされた教材も、通常のサーバー教材同様、STRパネルの再生ボタンの操作により、再生することができます。

◇ダウンロード先の選択について◇

- ダウンロード先には外部メディアとして、CD-Rを選択することもできますが、CD-Rを選択した場合、直接CD-Rへの書き込みは行いません。教材のダウンロード先としてCD-Rを指定した場合、初期設定状態では、デスクトップにある [Materials] フォルダの中にダウンロードされます。 [Materials] フォルダには [opt] と [mfs] フォルダが含まれます。これらのフォルダ／ファイルには、絶対に手動で編集、削除、追加しないでください。
- ダウンロードされた教材は、L3 Stageシステム終了後、CD-R書き込みソフトを使用して、CD-Rへの書き込みを行ってください。


◇注意◇

- 教材のダウンロードで学習者が一斉にダウンロードを始めた場合、ネットワーク負荷がかかることにより、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- ダウンロード先としてフロッピーディスクを選択した場合、ダウンロードに時間がかかります。

WBT型教材を使う

注意

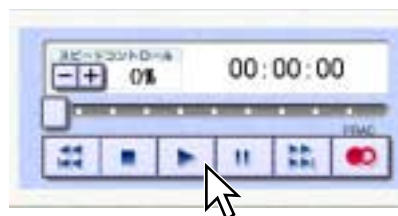
WBT型教材を使うためには、Microsoft Internet Explorer（Ver 5.0以上）が、各学習者パソコンにインストールされている必要があります。

1. 先生から教材が開放されると、[教材リスト] ボタンがONになり、サーバー教材選択パネルが表示されます。
2. 教材を選択します。WBT型教材には、のアイコンが表示されます。



- WBT型教材は、WBT型教材のアイコンが表示されたフォルダーの左にある[+] ボタンをクリックすると一覧表示されます。サーバー音声教材やアナライザー教材のようなレッスンーセンテンスの構造はありません。
- WBT型教材は、複数の教材を選択することはできません。

3. [PLAY] ボタンをクリックして、再生します。



Internet Explorerが起動され、そのウィンドウに教材が表示されます。

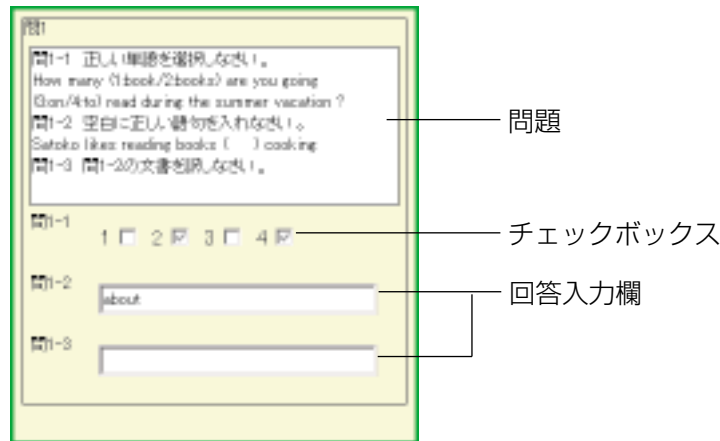
4. 教材を操作します。

- 教材内に登録された音声进行操作する時は、Internet Explorerのウィンドウ内に表示されたリモコンボタン进行操作します。
- 教材の実行を終了する時は、リモコンボタンの右側にある終了ボタンをクリックします。

WBT型教材では、音声のリモコンボタンの他に、テキストの表示をON / OFFしたり、静止画を切り換えるなどの機能があります。各ボタンの操作方法については、先生に確認してください。

評価問題の操作のしかた

WBT型教材に評価問題が設定されている場合、回答を行い「評価」ボタンを押すことで、回答、採点、評価が行われます。
 評価結果は学習履歴に保存されます。



- 選択問題の回答方法：チェックボックスにチェックを入れます。
- 穴埋め問題の回答方法：回答入力欄に回答を入力します。
- 記述問題の回答方法：回答入力欄に回答を入力します。記述問題では採点は行われません。

「評価」ボタン

：回答が完了したら「評価」ボタンを押すと評価結果が表示されます。

「残り回答時間」ボタン

：回答制限時間設定が行われている場合、制限時間の残り時間がカウントダウンされます。



[評価] ボタンを押すと評価結果が表示されます。評価結果と解説の確認が終わったら、
[閉じる] ボタンを押して評価結果画面を終了します。

ファイル/PRAC音声/学習履歴を提出する

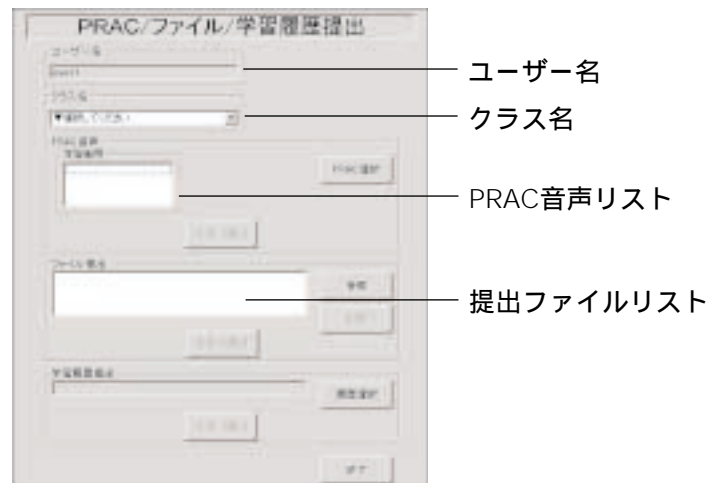
学習者パソコンに保存されたファイルやPRAC音声を先生に提出することができます。
また、スタンドアローン起動して行った学習履歴を提出することもできます。

PRAC音声を提出する

1. ランチャーのアプリケーションから「ファイル提出ソフト」の登録されているボタンをクリックします。



ファイル提出ソフトが起動します。



2. クラス名をリストから選択します。



3. [トラック選択] ボタンを押して、提出するトラックを選択します。



4. トラック選択画面で提出するPRACの保存されたトラックを選択したら、[OK] ボタンをクリックします。

トラック選択パネルが閉じて、ファイル提出ソフト画面に戻り、PRAC音声リストに選択したトラックが表示されます。

5. [先生へ提出] ボタンをクリックします。

先生にPRAC音声提出されます。提出中は他の操作はできません。

6. [提出完了] パネルが表示されます。

[OK] ボタンをクリックしてパネルを閉じます。

ファイルを提出する

1. ランチャーのアプリケーションから「ファイル提出ソフト」の登録されているボタンをクリックします。



ファイル提出ソフトが起動します。



2. クラス名をリストから選択します。



3. [参照] ボタンを押して、提出するファイルを選択します。
提出ファイルリストに選択したファイルが表示されます。

4. [先生へ提出] ボタンをクリックします。

先生にファイルが提出されます。提出中は他の操作はできません。

5. [提出完了] パネルが表示されます。

[OK] ボタンをクリックしてパネルを閉じます。

学習履歴を提出する

1. ランチャーのアプリケーションから「ファイル提出ソフト」の登録されているボタンをクリックします。

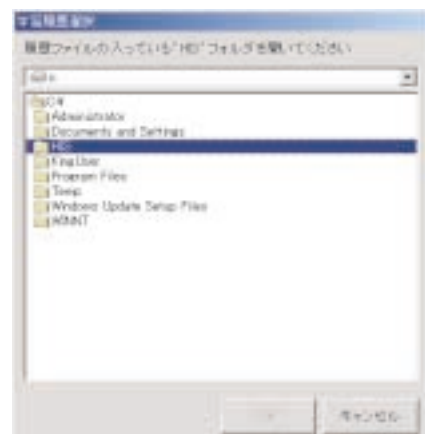


ファイル提出ソフトが起動します。



2. [履歴選択] ボタンを押します。

学習履歴選択パネルが表示されます。



スタンドアローン時の学習履歴の保存先はユーティリティで設定した内容により異なります。保存先は先生に確認してください（学習履歴データを持ち運ぶ場合は、保存先のHISフォルダーをメディアなどにコピーして行ってください）。

3. 学習履歴の入っているHISフォルダーを開き、[OK] ボタンをクリックします。

ファイル提出ソフトの学習履歴参照先表示欄に表示されます。

4. [先生へ提出] ボタンを押すと、選択した学習履歴が表示されます。

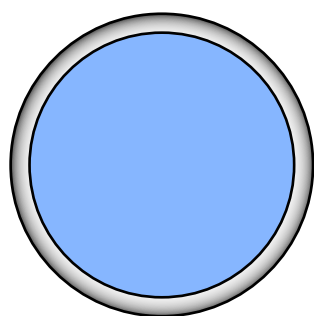
提出中は他の操作はできません。

5. 提出が完了すると [提出完了] パネルが表示されます。

[OK] ボタンをクリックして閉じます。

＼注意＼

- ファイル提出ソフトの提出可能なファイル数の上限は20ファイルまでです。サイズは最大100 MBです。
ファイル提出で、学習者が一斉にファイル / PRAC提出を始めた場合、ネットワーク負荷がかかることにより、ファイル / PRAC提出に時間がかかる場合があります。
- PRAC音声およびファイル提出する際は、クラス名を選択しないと提出できません。また、学習履歴の提出をする際は、クラス名の選択は必要ありません。
- クラス名リストは、事前にサーバーに提出用のクラス名のフォルダーを作成していないと表示されません。表示されない場合は、システム管理者または先生に確認してください。



付録

もくじ

トラブルシューティング	50
エラーメッセージ一覧	51

トラブルシューティング

ここでは、システム運用中に起こったトラブルの対処方法について説明します。トラブルが起こった場合、「確認していただく内容」欄に記載されている手順に従って対処し、再度操作して確認してみてください。

対処してもトラブルが解消しないときは、先生に症状を報告してください。

症状	確認していただく内容
音声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none">• ヘッドセットのプラグを正しく差し込んでください。• スチューデントユニットのヘッドセット音量調節つまみ [PHONES] で音量を調節してください。
相手の声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none">• スチューデントユニットのヘッドセット音量調節つまみ [PHONES] で音量を調節してください。• 相手側のスチューデントユニットのマイク音量調節つまみ [MIC] で音量を調節してください。
録音した教材音声が聞こえない	他のローカルフォルダーに教材が録音されていないか、確認してください。
PRAC音声が聞こえない	スチューデントユニットのマイク音量調節つまみ [MIC] で音量を調節し、再度PRAC録音してください。
教材再生中に音切れする、ノイズが聞こえる	<ul style="list-style-type: none">• ヘッドセットのプラグを正しく差し込んでください。• ヘッドセットのコードが、スチューデントユニット側面に固定されていることをご確認ください。それでもノイズが解消されない場合は、ヘッドセットのプラグ表面を清掃してください。
パソコンの画面に映像が映らない	<ul style="list-style-type: none">• ディスプレイの電源が入っているか確認してください。• ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
アプリケーションが起動しない	ランチャーパネルで先生から操作ロックが設定されていないかどうか確認してください。

エラーメッセージ一覧

ここでは、システム運用中に表示されるエラーメッセージの対処方法について説明します。エラーメッセージが表示された場合、「説明・対処方法など」欄に記載されている手順に従って対処し、操作して確認してみてください。
対処してもエラーが解消しないときは、先生に症状を報告してください。

メッセージ内容	説明・対処方法など
出席登録が拒否されました。 お待ちください。	先生が認証エラー処理を行うまで、そのままでお待ちください。[電源OFF]ボタンをクリックすると、パソコンの電源がOFFになります。
サーバーの接続中に、エラーが発生しました。	オーディオサーバー/ファイル配信サーバーの状態や、接続確認などが必要です。 先生にメッセージの内容を通知してください。 サーバーの状態、LANの接続を確認してください。
デバイスが準備されていません	[OK] ボタンを押して、パネルを閉じてください。指定したドライブにフロッピーディスクやCD-ROMをセットしてから改めてドライブを指定してください。
起動できません。設定されている内容に誤りがあります。	[OK] ボタンを押して、パネルを閉じてください。設定の確認が必要です。先生にメッセージの内容を通知してください。
このファイルは開けません。 ファイルを開くアプリケーションを設定してください。	[OK] ボタンを押して、パネルを閉じてください。このファイルを開くときに通常使用するアプリケーションが起動できない状態です。 別のアプリケーションを使って開くように設定してください。
選択されたWBT型教材の起動に失敗しました	[OK] ボタンを押して、パネルを閉じてください。WBT型教材に異常がある可能性があります。先生にメッセージの内容を通知してください。

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410

© 2003 Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd. All Rights Reserved.

3TR001625AAA
av0303-0